

作業療法士が活躍する ところ

富山県では、とても多くの作業療法士が日々働いています。(R7年 約700名)

作業療法士の活躍の場は、病院などの医療機関のほか、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム等の介護・福祉分野、地域包括支援センターや就労移行支援事業所等の行政・地域分野、特別支援学校等の教育分野など多岐に渡ります。

【医療機関】

一般病院、精神病院、特定機能病院 等



【介護・福祉】

介護老人保健施設、特別養護老人ホーム
通所リハビリテーション、児童福祉施設
身体障害者更生施設 等



【行政・地域】

地域包括支援センター、保健所
就労移行支援事業所 等



【教育機関】

特別支援学校、児童デイサービス 等



作業療法士になるには (OT)

高等学校卒業 又は 大学卒・社会人
(高校卒業認定試験合格者)

専門学校
(厚生労働大臣指定)

大学・短大
(文部科学大臣指定)

3年又は4年課程

(国家試験受験資格取得)



国家試験合格



作業療法士資格取得
(作業療法士は国家資格です)



(一社)日本作業療法士協会
<https://www.jaot.or.jp/>



【富山県作業療法士会事務局】
富山医療福祉専門学校内
〒936-0023 富山県滑川市柳原149-9
TEL/FAX 076-476-0707

作業療法 OCCUPATIONAL THERAPY

「こころ」と「からだ」の回復から
生き生きとした生活へ
～ 医・職・住～を支援する
リハビリテーションの専門家



(一社)富山県作業療法士会

<https://toyama-ot.org>



身体障害

病気や事故などにより、からだを自由に動かせなくなった方々に対して、様々な作業活動を用い、それらを動かせるように練習を行います。また、残されたからだの機能を活用し、日常生活の動作や家事動作の獲得など自宅での生活ができるように支援します。



脳血管障害
脊髄損傷
リウマチ
外傷
がん など

精神障害

精神疾患により日常生活や社会生活が過ごしにくくなった方々に対して、様々な作業活動を用い、症状の軽減、体力や生活リズムの回復、対人関係能力の改善、社会生活への適応を図り、その人らしい生活が送れるように援助します。



統合失調症
気分障害
認知症
行動障害
人格障害 など

発達障害

障がいのある子どもたちに対し、遊びなどの日々の暮らしの活動を手段として発達段階に合わせた治療介入をします。また、ご家族や関わる人すべてへの支援を行い、障がいがあっても家庭や学校、社会で生活していくための援助を行います。



脳性まひ
自閉スペクトラム障害
注意欠陥多動性障害
など

老年期障害

加齢に伴うさまざまな疾患や諸機能の低下によって、日常生活に支障をきたしている方に対し、心身の健康維持につながる作業活動（体力作りや趣味活動、家庭や社会での役割を持てる活動）を用いて、よりその方らしい主体的な生活が送れるよう支援します。



認知症
骨折
脳血管障害
廃用症候群
パーキンソン病
など

地域・就労

障がいのある人々や高齢者、その家族が住み慣れた地域でいきいきとした生活を送れるよう、地域の活動に参加したり、復職が必要な方に対して、仕事復帰の練習や働きやすい環境づくりの支援を行います。



作業とは

『その人にとって目的や価値をもつ生活行為』のことを指します。生活行為には《日常生活活動、家事、仕事、趣味、遊び、対人交流、休養などの日々の活動全て》が含まれます。

作業療法では、病気や加齢、障がいなどにより『作業』ができなくなった方に対して、住み慣れた場所で、再び、自分らしく『作業』ができるように支援します。

作業療法との出会い
～その取り組みと姿を追う～
(作業療法の紹介動画) ⇒

